

令和5年3月22日

東京地方裁判所民事第34部合議甲B係 御中

録音反訳報告書

原告ら訴訟復代理人 弁護士 坂井



当職は、貴府令和3年(ワ)第23302号国家賠償請求事件において提出された甲154号証の音声記録の内容を聴取し、その一部を反訳しましたので、下記のとおり報告いたします。

記

1. 録音反訳を行った音声記録（甲155）

日 時 令和2年3月27日午後3時より

場 所 千代田区霞が関1丁目1番1号所在の東京地方検察庁

内 容 [REDACTED] 檢事（以下、[REDACTED] 檢事という。）による訴外 [REDACTED]（原告会社の従業員。以下、訴外 [REDACTED] という。）の取調べを録音したもの。総録音時間1時間43分44秒。

録音者 訴外 [REDACTED]

2. 録音反訳の方法

当職が音声記録を聴取し、冒頭より会話の内容を反訳した。

3. 録音反訳の結果

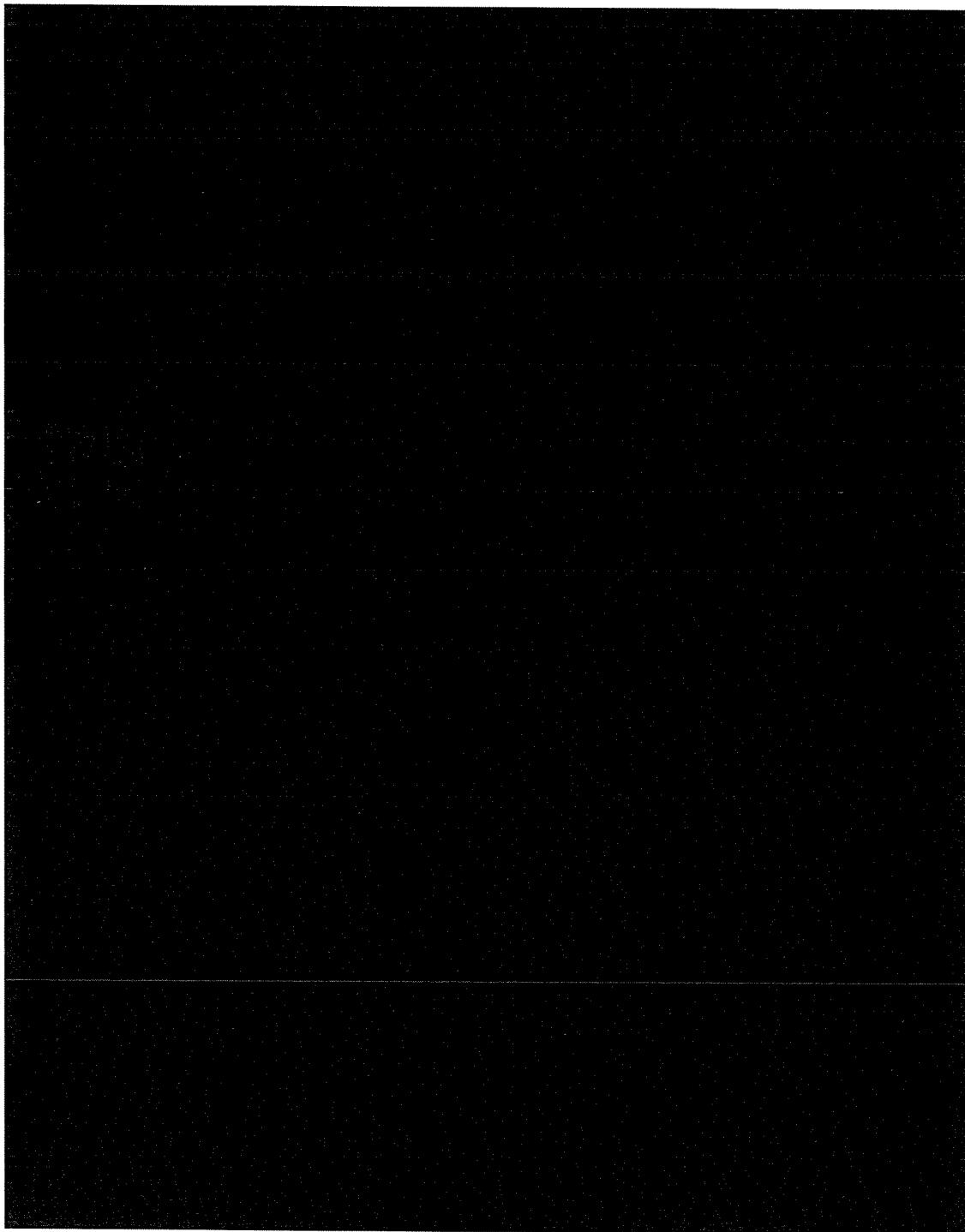
反訳の全文は別紙のとおりである。

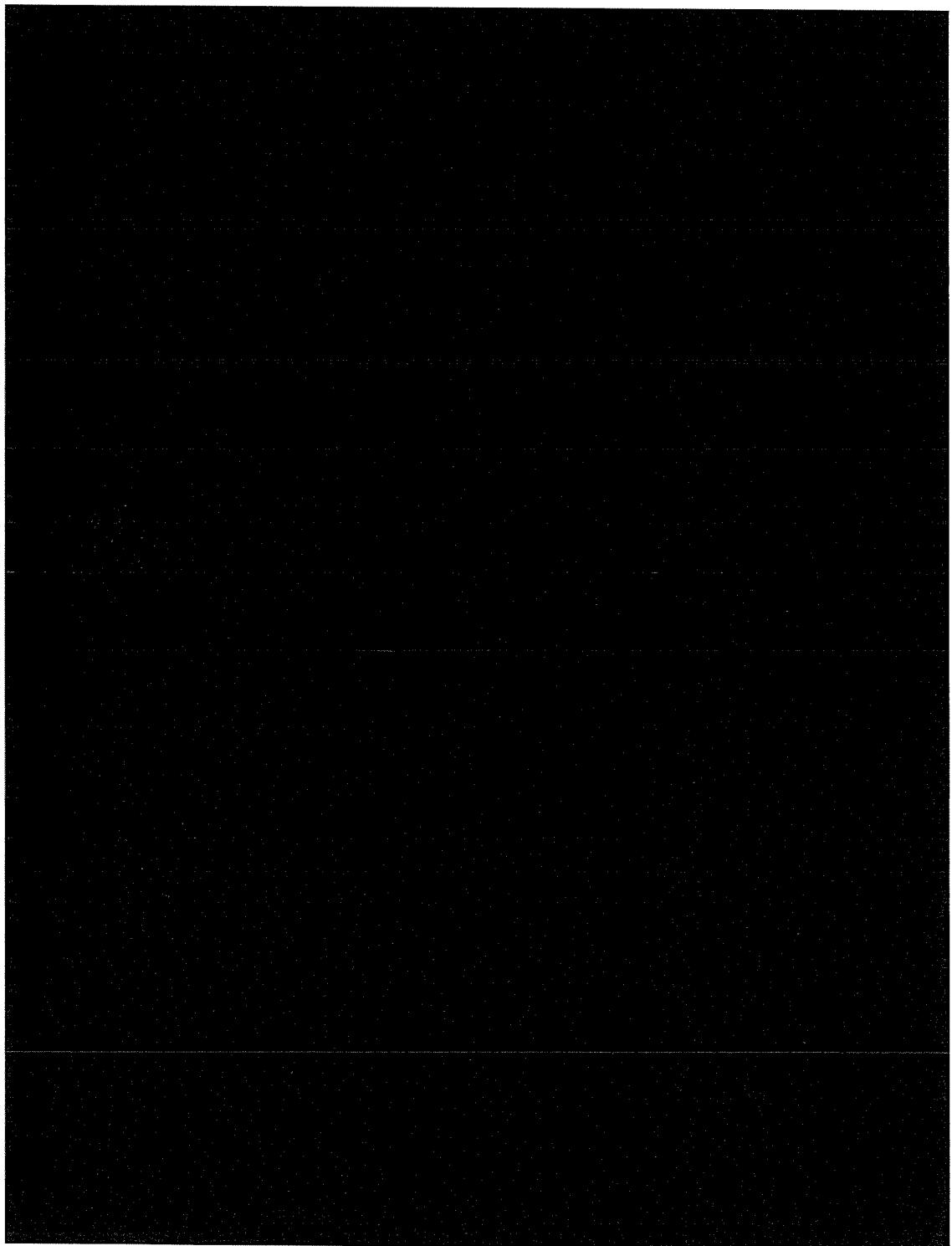
訴外 [REDACTED] は、冒頭47分47秒から50分23秒において原告会社の噴霧乾燥器におでこをくっつけられるほど温度が上がりにくい箇所があることを [REDACTED] 檢事に対して指摘していることが確認された。

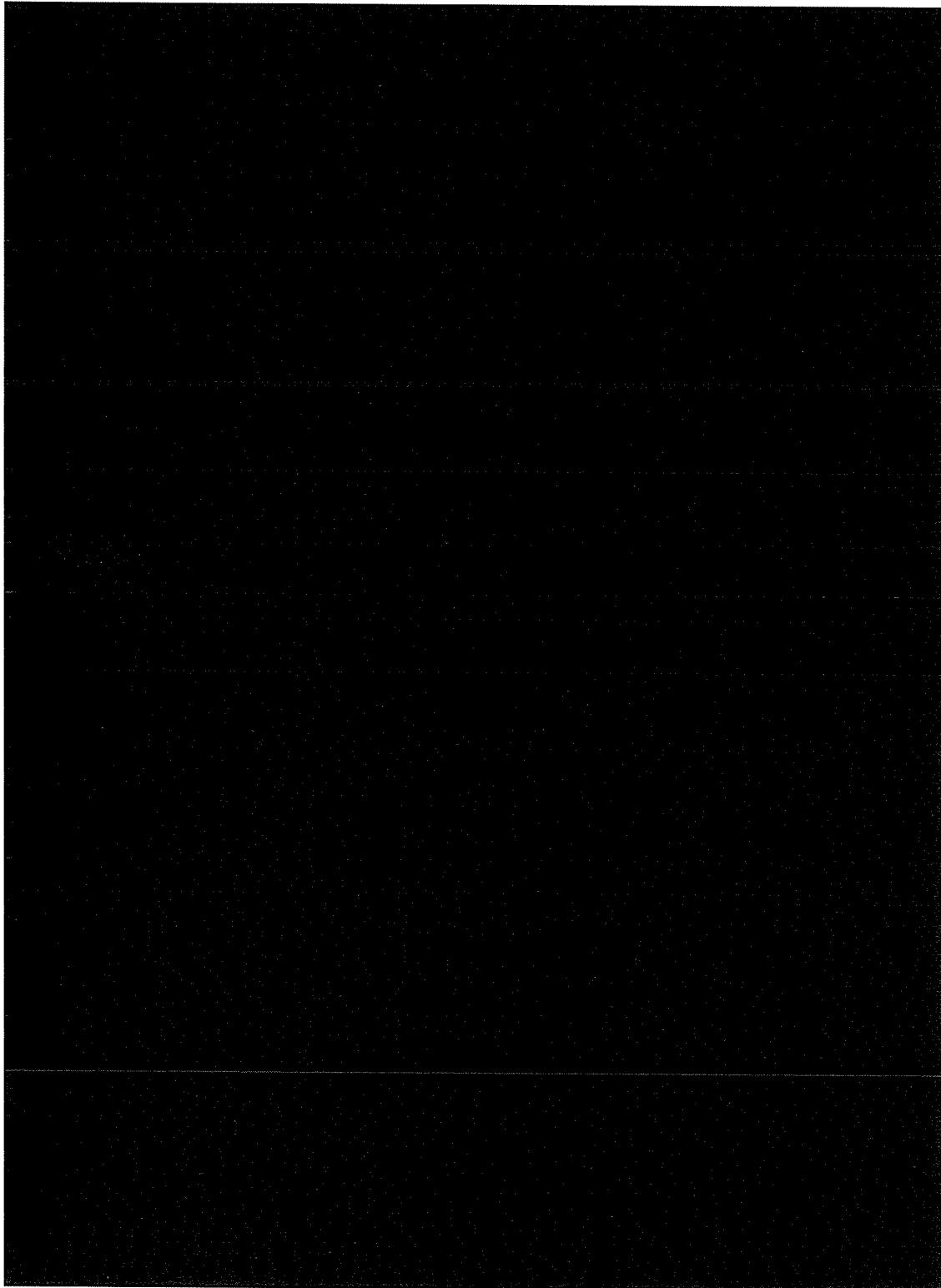
また、訴外 [REDACTED] は、冒頭1時間4分22秒から1時間7分10秒において原告会社の噴霧乾燥器の内部で、点検口（測定口と同義）などの箇所は直接触れたりできるほど温度が上がらない旨を [REDACTED] 檢事に対し供述していることが確認された（以上別紙において下線を付けた部分をご参照）。

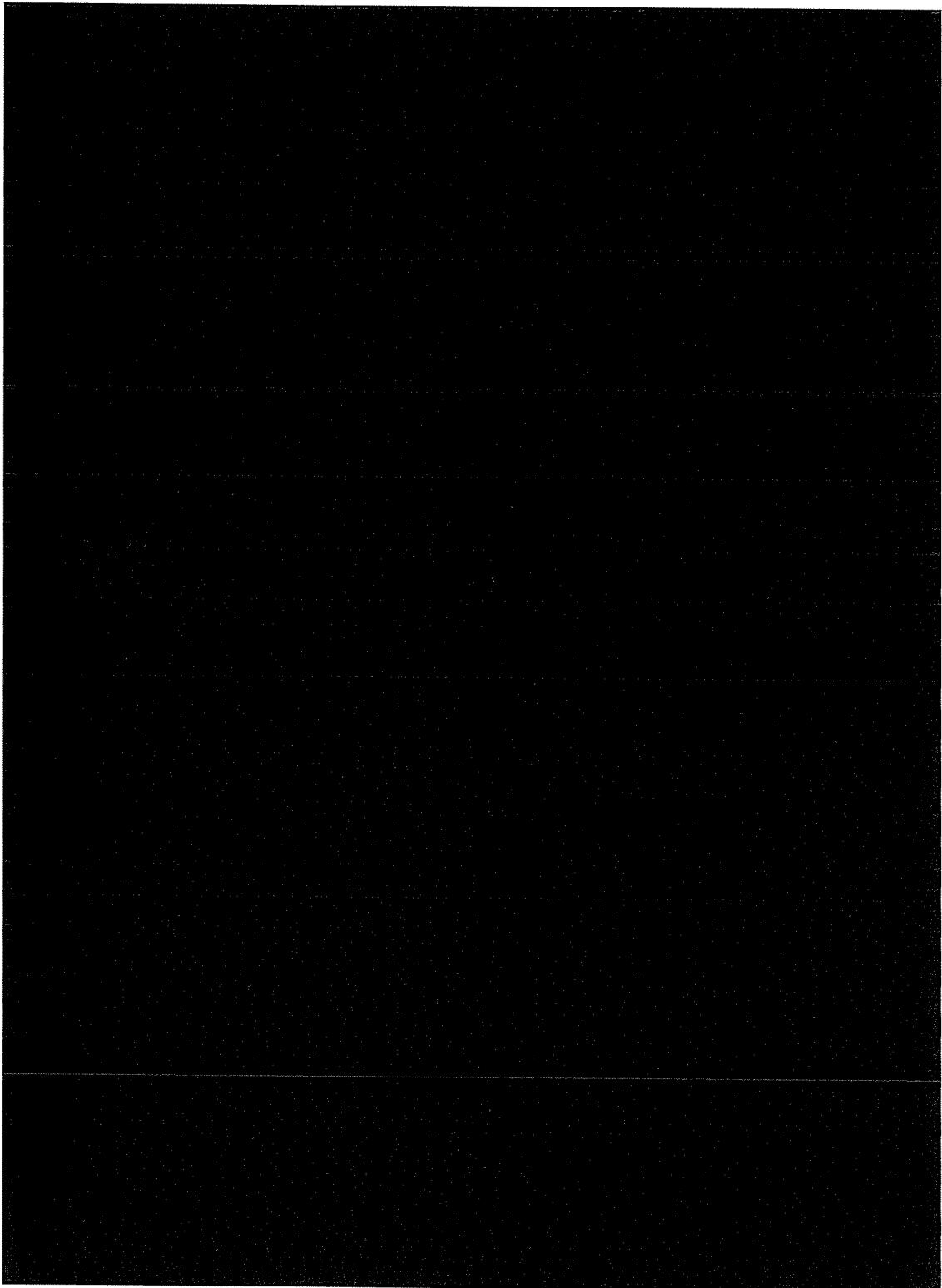
以 上

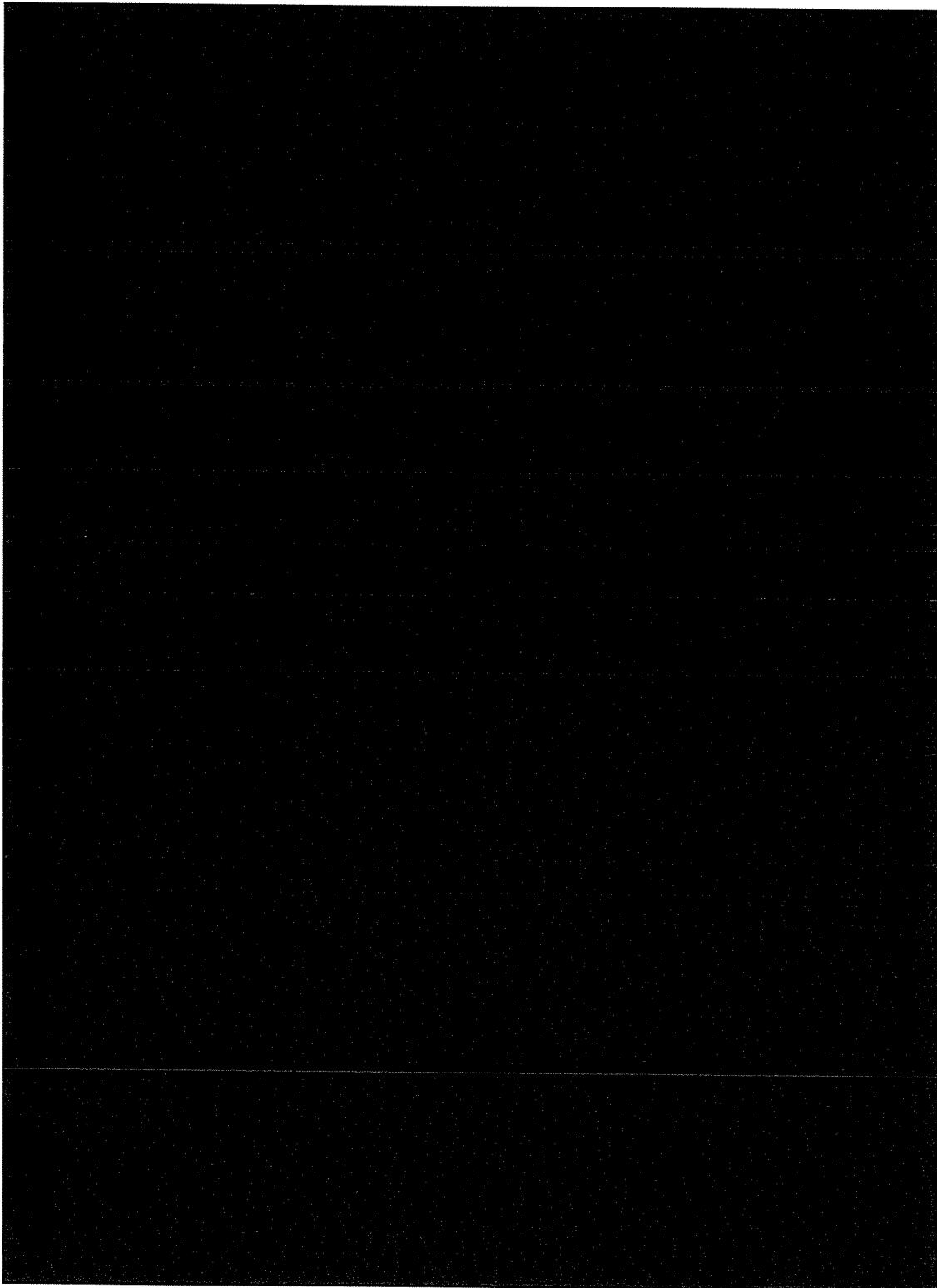
別紙













そのあといろいろ考えたんですけど、確かに乾燥室の中が全部同じ温度になれば、そうかもしれないと思ったんですけど、よくよく考えると全然手で触れるところとかあるんですね。

外から？

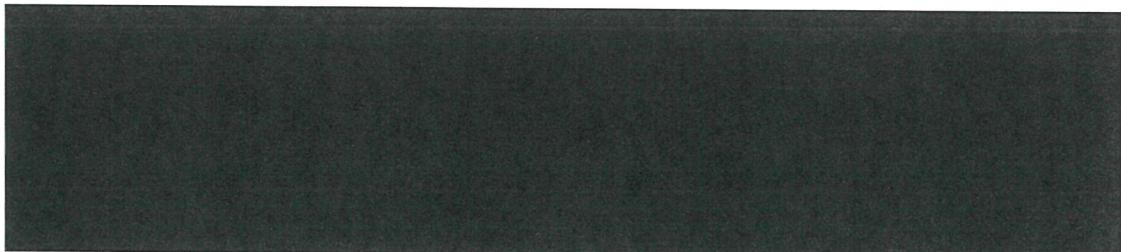
そうですそうです。っていうことは外からガラスとかがあるんで、そっからの中見たりするんですよ。そんときによくよく考えたらおでこをくっつけたりしてからそこら辺って温度全然上がってないってことだと思うんですよね。てことは無理じゃないかなって。そこにもしいたら、こんなおでこくっつけられるようなところそのガラスについてる菌は、死なないんじゃないかと思っている。だから無理なんじゃないのかなってちょっと思ってるんですよね。

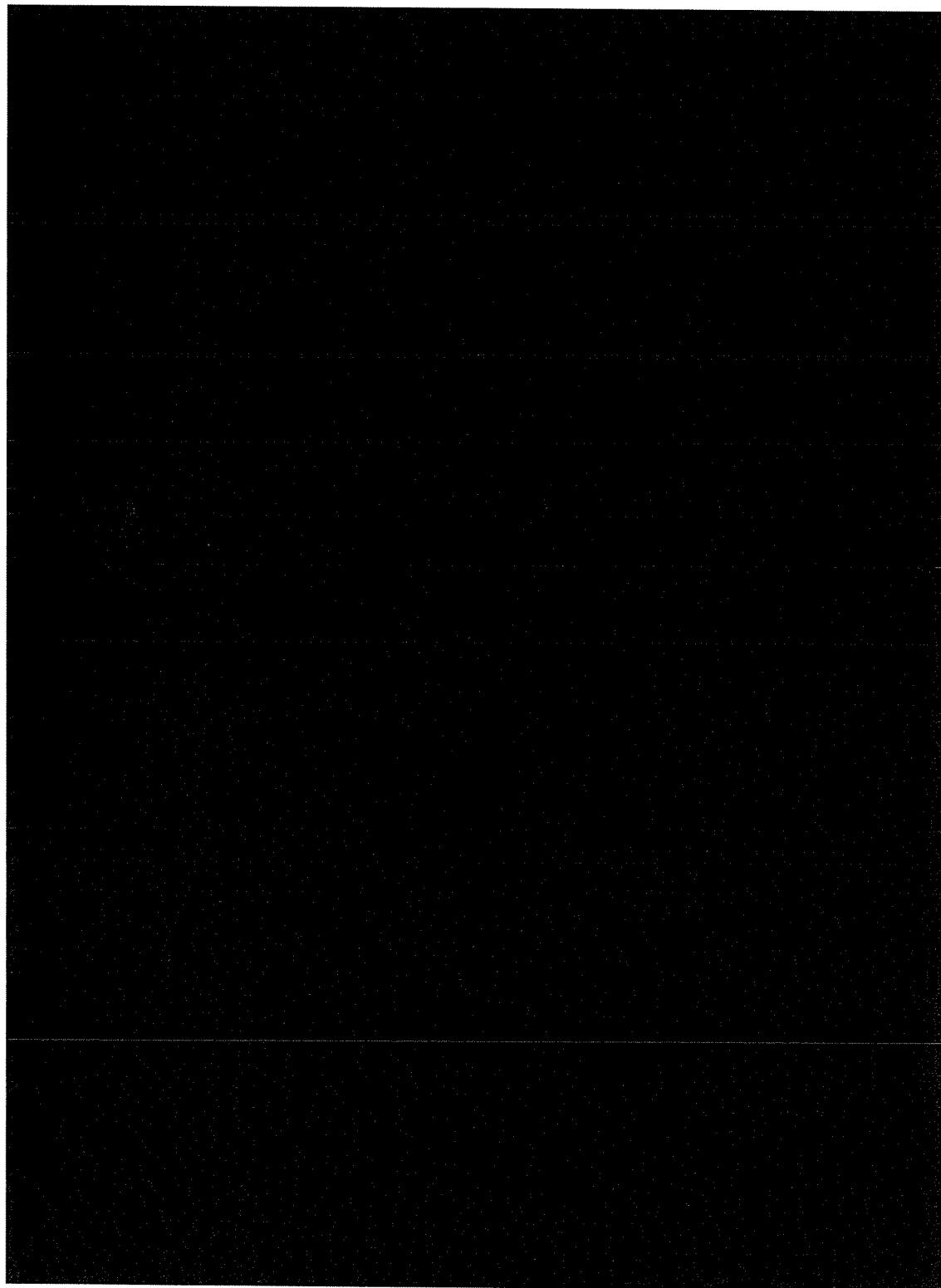
滅菌は無理でしょうね多分そこに菌がいたら。殺菌ってレベルがあるじゃないですか。

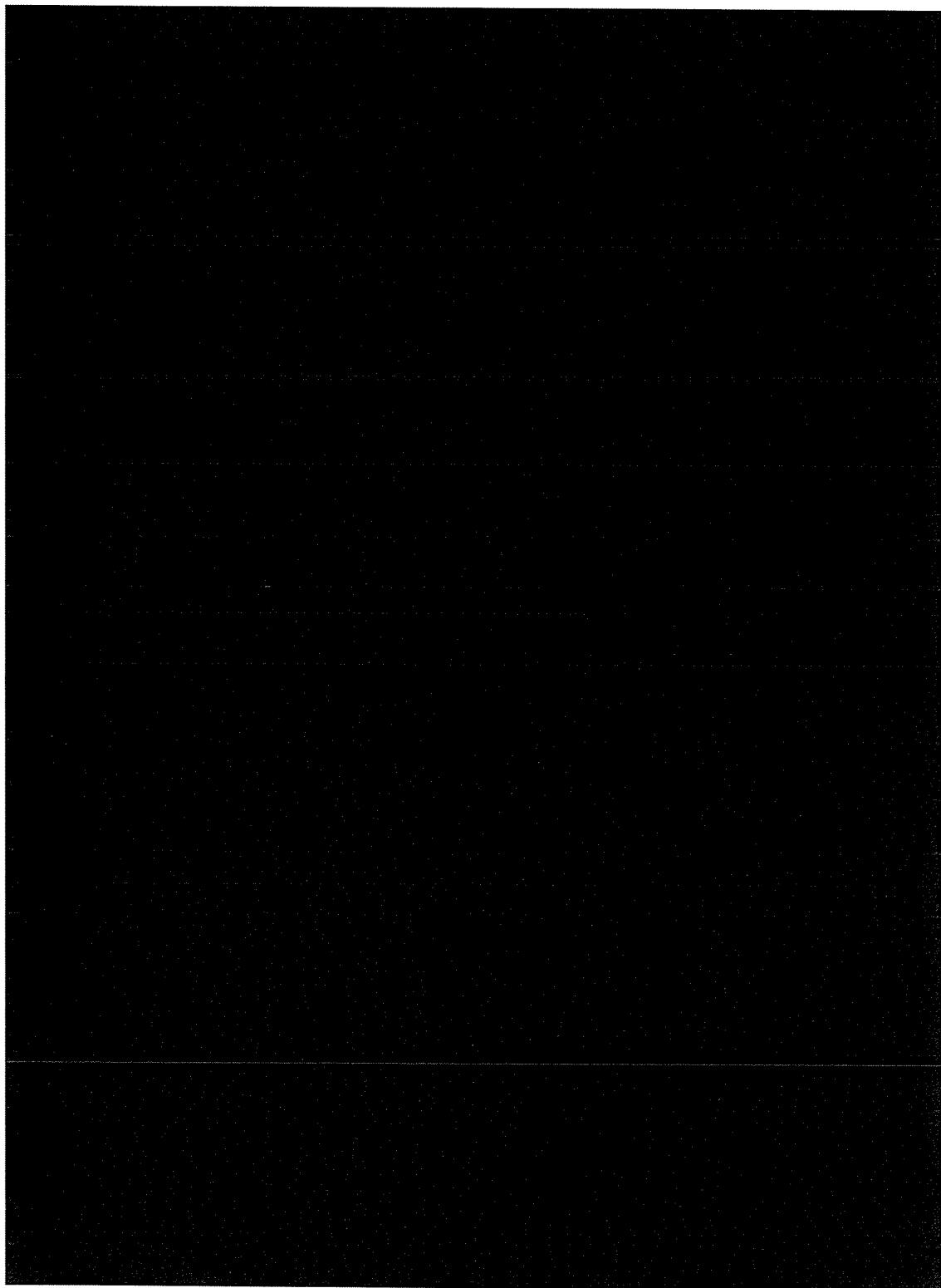
まあレベル、そうですよね。どのレベルかにもよると思うんですけど。

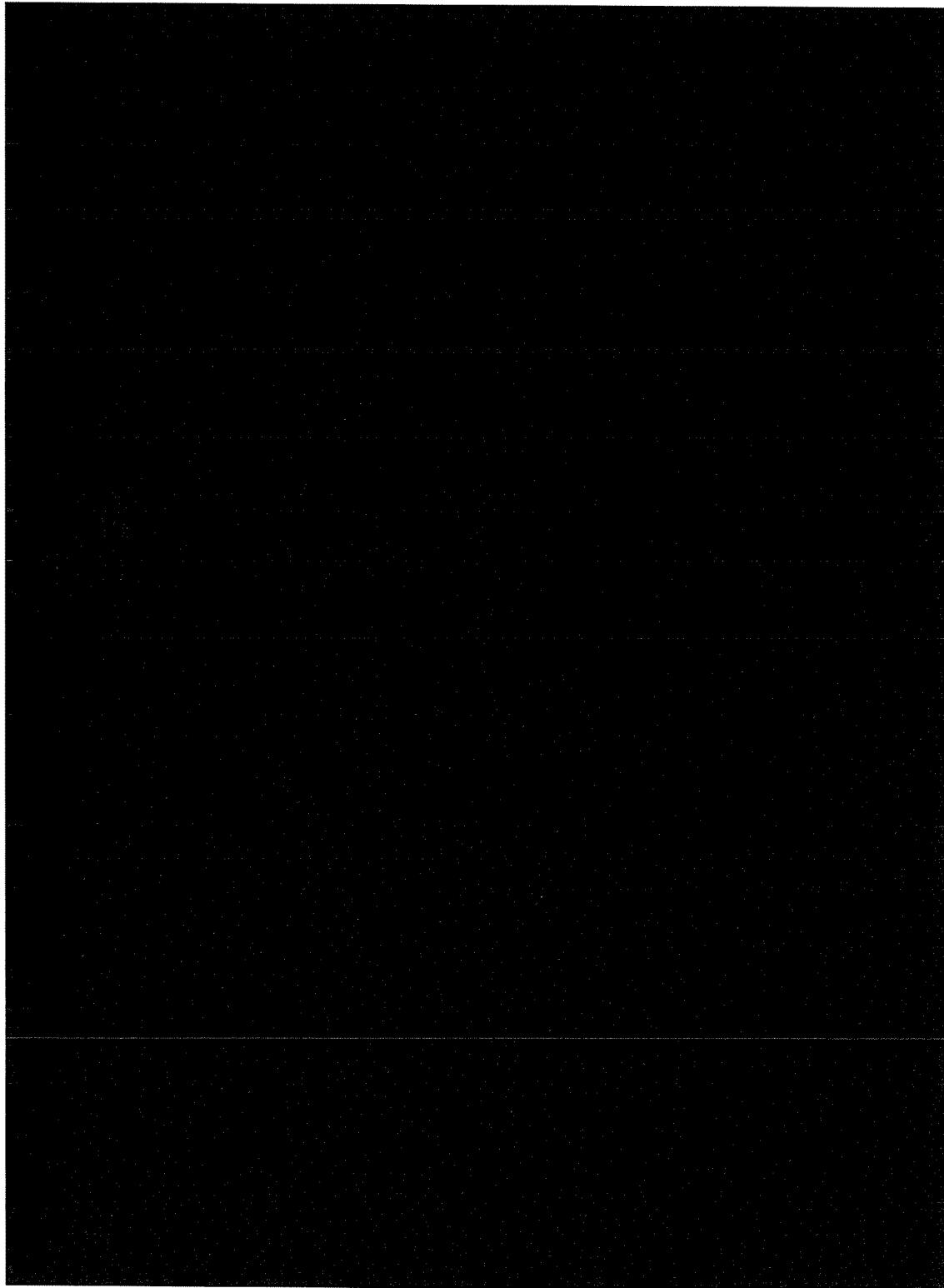
法律上殺菌の、例えば50パー、まあ伝播能力がなくなればというところもあるんでしょうけど、伝播能力がなくなるという菌の種類によっても当然違いますね？なんか今もコロナウイルスで結構大きいものとかあれはウイルスですけどやってますけど、例えば1000残ってれば人にうつるのか、10000ないと駄目なのか、100でもいけるのかっていう。このいろいろ幅のある中で、可能性として殺菌できる可能性があると判断すべきなのか、どうですか？

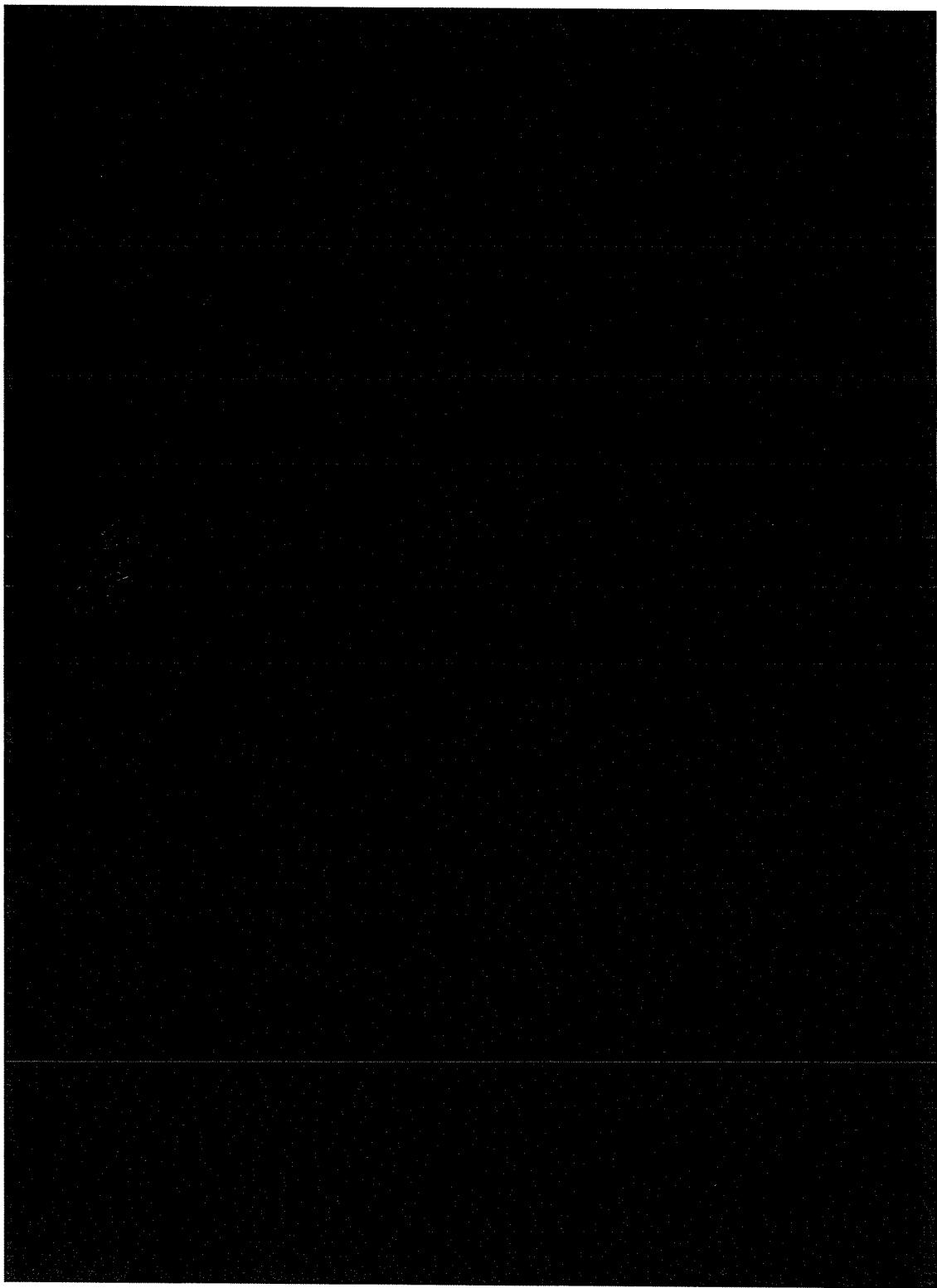
仮定の話をされちゃうとうーんってなっちゃうんですよね、やったことないからわかんないです。あくまで全部が全部、私もずっとそう思ってたんですよね。やっぱ警察で聴取されてるときに、それはそうだろうなって思ってたんですけど、よくよく考えたら全部同じものにならないよな。おでこをくっつけるからと思って。なので、レベルですね、死ぬ菌死なない菌とかその伝播能力とかっていう仮定は正直わかんないんですけど、少なくとも、滅菌とか殺菌とかはできるような装置じゃないよなっていうふうに今は思ってます。

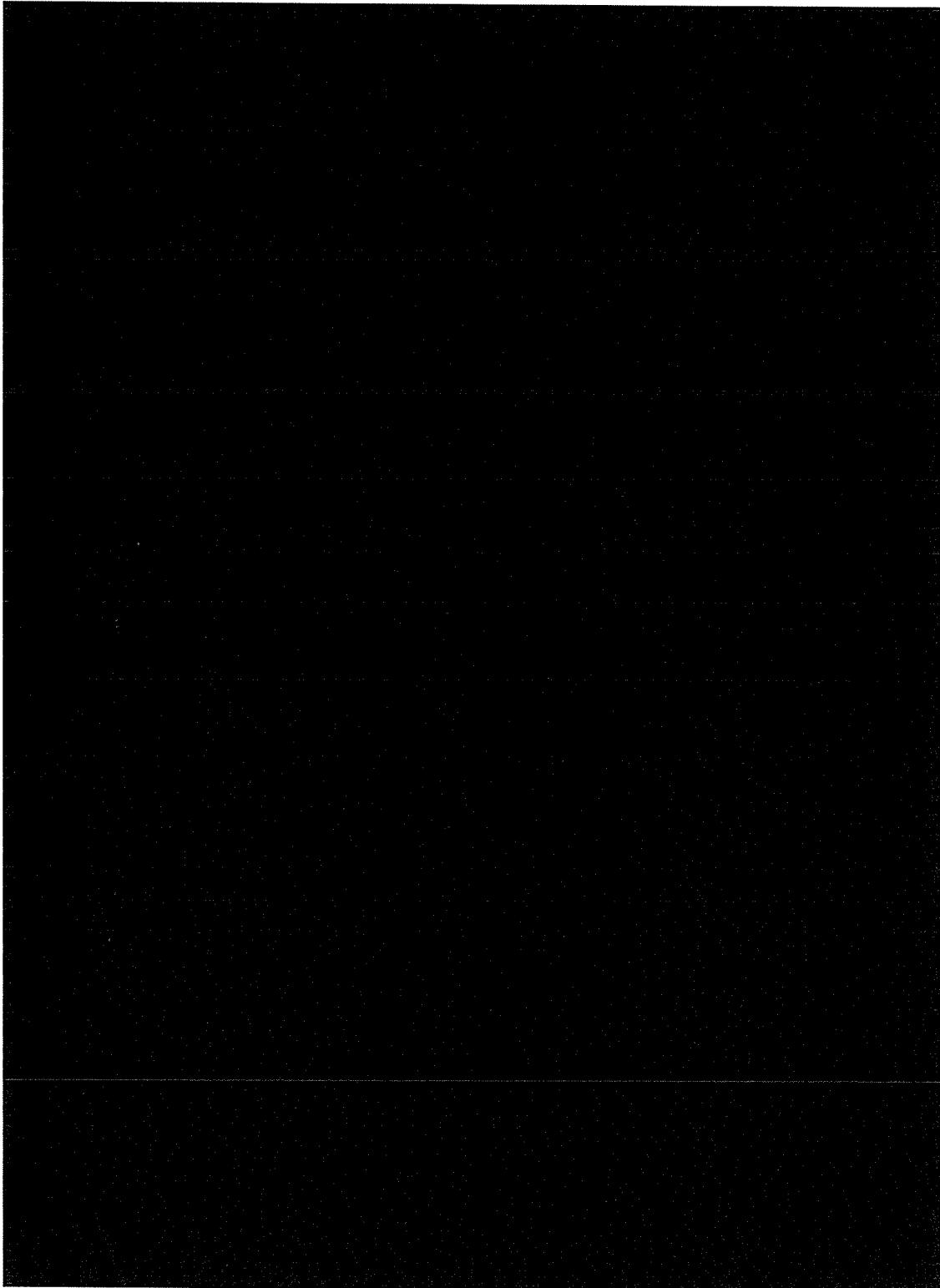














あくまでそのハの部分だけなので、そこに関してはやっぱり今まで全部その温度も温まると思ってたし、うんそうだろうなって思ってましたけど、でも実際は冷たいところもあるし、ってことはその冷たいところは死なないんじゃないのかなって、

冷たいところは液体噴霧したときには、まあそうか、その瞬間蒸発をして粉になって、

はい。なのでこの噴霧しているところが見えるとこにあります。ちょうどそこでいう真ん中の丸みたいなやつ、それです。その辺がマンホールですね。

マンホールとあと何でしたっけ。

点検口とか。私がよくおでこくっつけるっていうのがこの辺の話なんですね、最終的に粉が排出されるって言ってたのが、これで言うと、そうかここですね、ここ、これが、ここから先はお客様でやってもらうんですけど。このフィルターでも、あの細かい粉とかはどうしても抜けてしまうんでこう行ってここからビヤーって出ちゃう。

ここで水に突っ込むってさっき？

そうですそうです。

か、もうちょっとフィルター何重かにするか？

そうですね。

ここまでフィルターですか？

はい。

あと温度が上がらないなって思う部分はありますか。

んーあとよくあるのがここの一番下のところとか、あの、本当にピンポイントにこのううですねその辺とかは温度が低かったりしますね。

どれくらい。

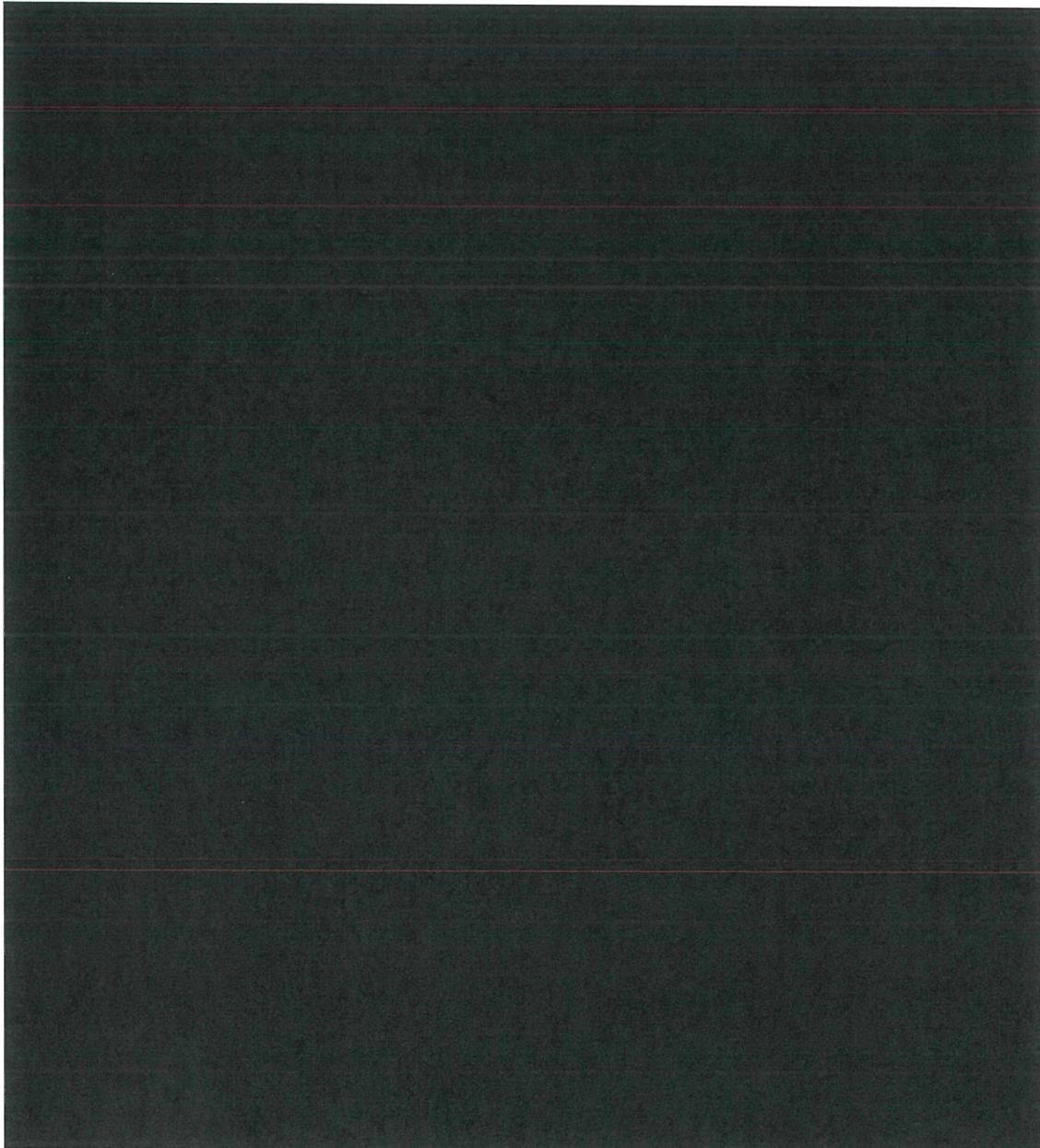
それは単純に触ってみて熱ってなるか、あっ触れる程度のものなので。

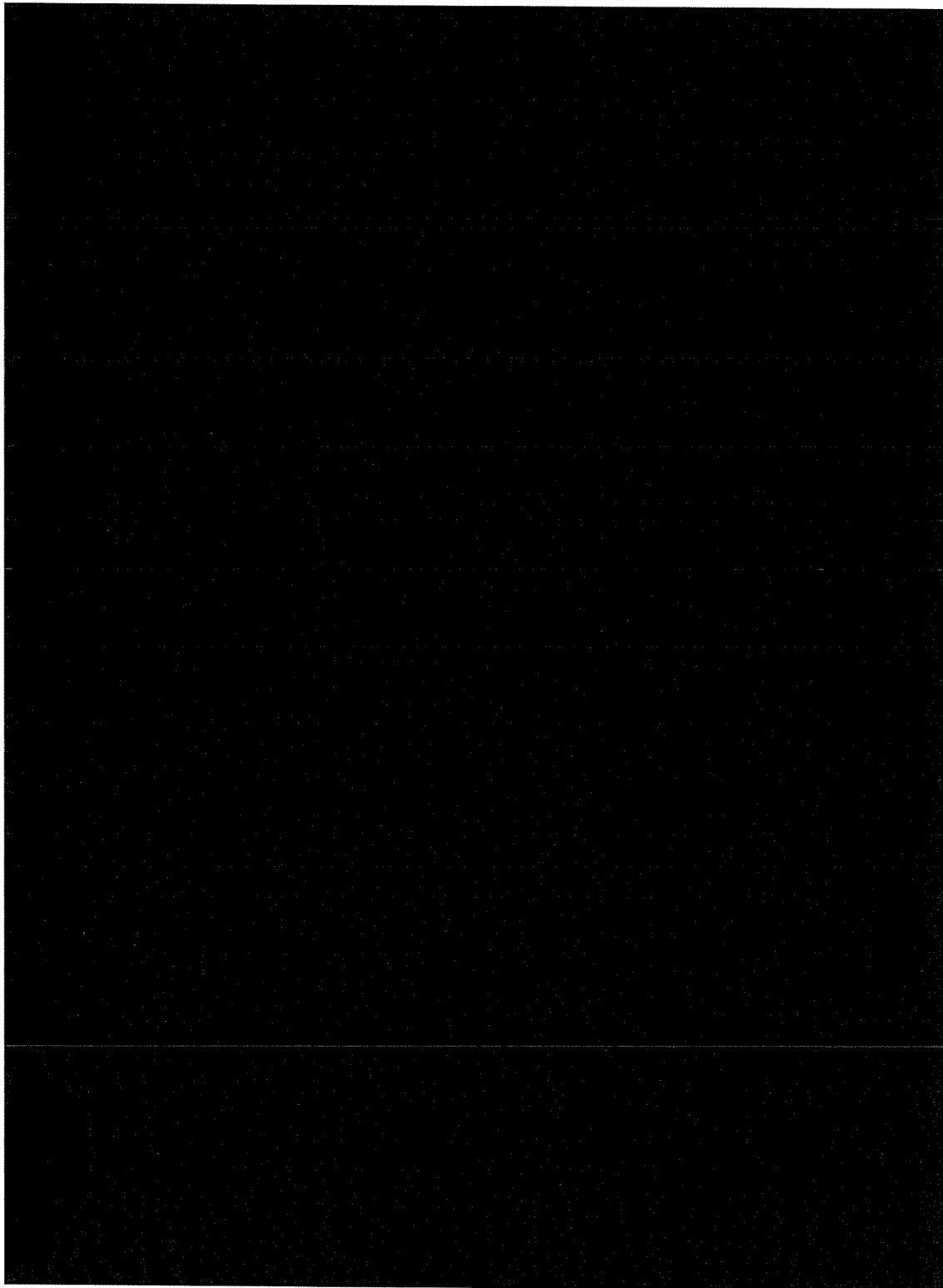
ここはさわれる？

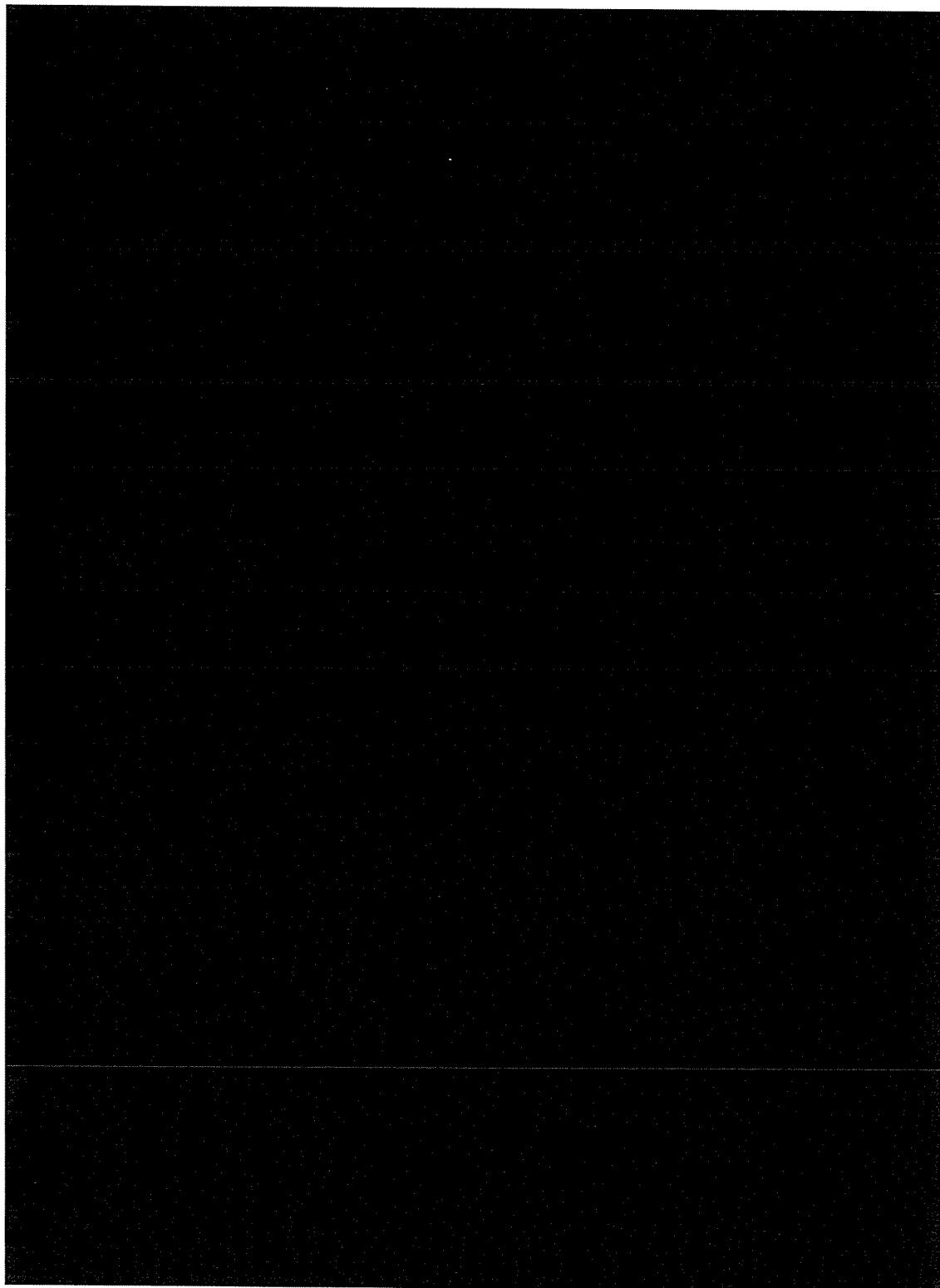
そうですね、結構この辺熱いんですけどその熱い中でもレベルってあるじゃないですか。

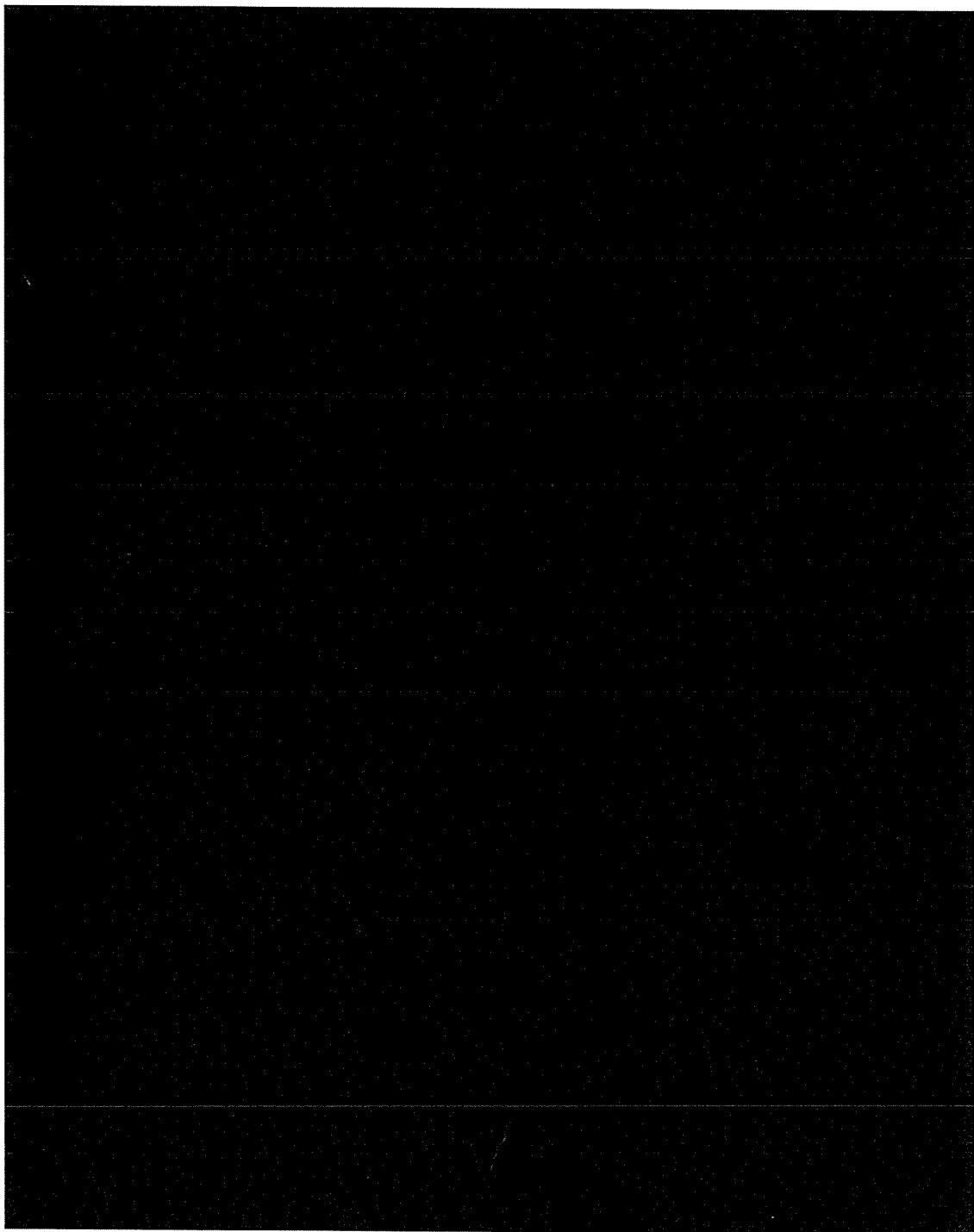
ありますね。もう何か触った瞬間やけどとか

そうですそうです。そういうのじゃない部分っていうのがなんか一番下とか、この辺はそうでもなかったりしますね。









以上